

信用金庫を取り巻く経営環境

地域社会を巡る環境（外部環境）

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| ①止まらない人口減少等  | ④労働環境の変化        |
| ②少子高齢化の急速な進展 | ⑤ESG、SDGsの普及・浸透 |
| ③様々な分野で進むDX  | ⑥貯蓄から投資への流れの加速  |

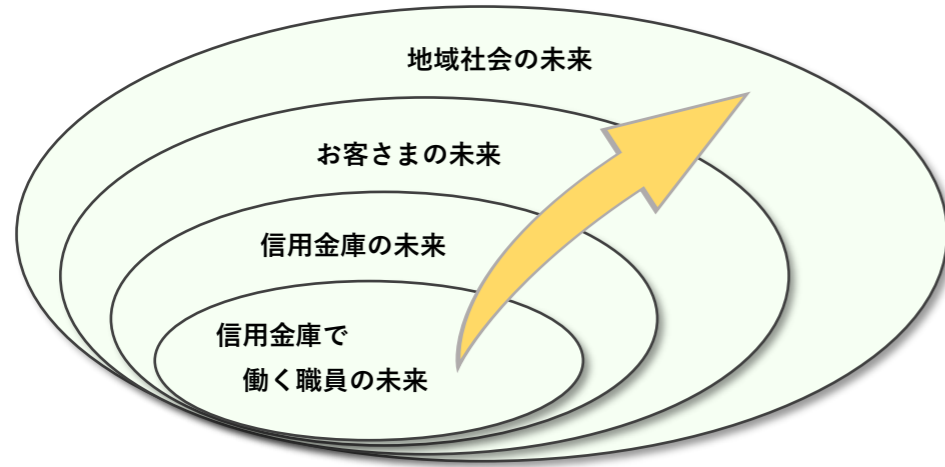
信用金庫の現状（内部環境）

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| ①逆ザヤが続く本業利益      | ⑤営業店業務の増加と職員の漸減 |
| ②収益に占める貸出金利割合の低下 | ⑥将来への不安が残る人員構成  |
| ③金融機関の業務の多様化     | ⑦多様な職員の活躍の必要性   |
| ④変わる営業店の役割       |                 |

信用金庫が目指すべき姿

信用金庫は、会員、お客さま、そして職員をはじめとする地域のすべての人の成長と幸せのために行動し、協同組織の地域金融機関として地域が抱える課題解決に貢献し、持続可能な地域社会を創る。

“地域社会、お客さま、信用金庫、職員の持続可能な未来の確立”



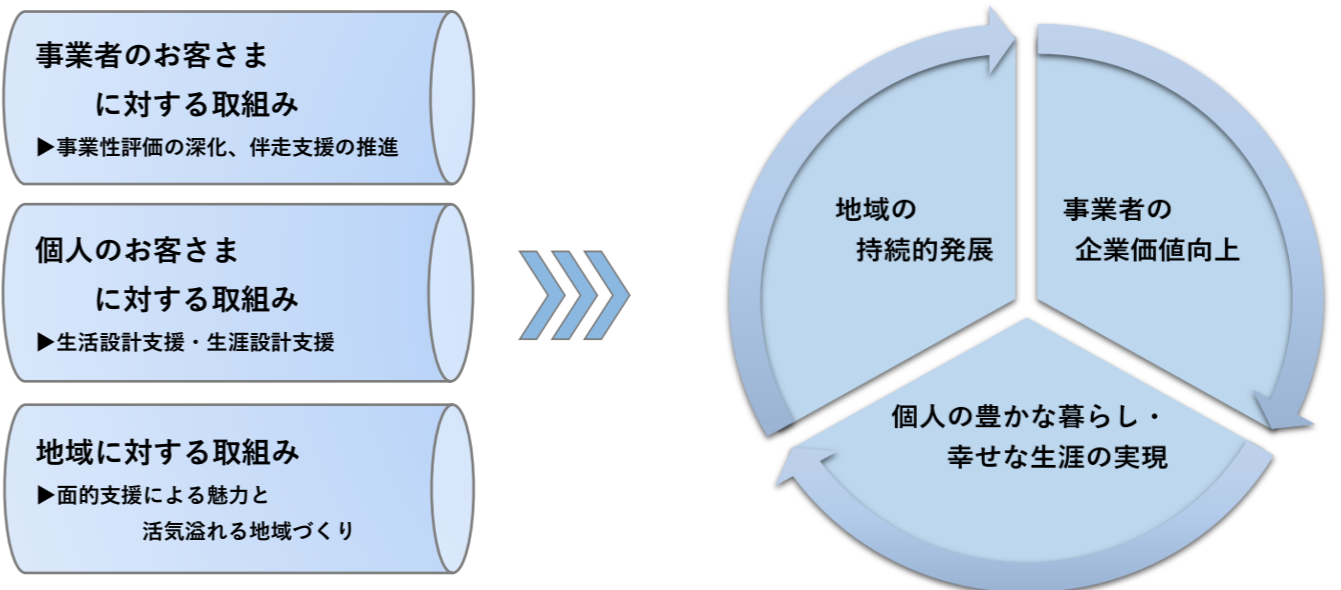
新中期経営計画の方向性

信用金庫経営の変革

1. 組織の革新（組織風土等に着目した取組み）
2. 持続的な人的基盤の確立（人財戦略等）
3. 信用金庫のDXの推進
4. GXによる社会的課題への対応
5. 将来を見据えた店舗戦略の策定・運用
6. 経営管理上の重点課題への対応（リスク管理、金利上昇への対応、資金運用）

お客さま、地域に対する活動

“共通価値の最大化、好循環の実現”



“信用金庫の取組みを後押し”

信用金庫業界の連携による総合力の発揮

1. 業界としての金融業務に関するデジタル戦略の構築等
2. 信用金庫への人事施策に関する情報提供等
3. 業界広報への戦略的な取組み
4. 業界としてのDX、GX推進サポート
5. 信用金庫の課題解決活動のサポート
6. 自然災害に対する迅速な支援の実施